

第10回東京都聖火リレー実行委員会等について

1 第10回東京都聖火リレー実行委員会について

(1) 開催日

令和元年10月4日（金）（書面開催）

(2) 委員

会長：多羅尾光睦 東京都副知事

副会長：山崎 孝明 特別区長会会長（江東区長）

清水 庄平 東京都市長会会長（立川市長）

河村 文夫 東京都町村会会長（奥多摩町長） ほか

(3) 議題

①報告事項

オリンピック聖火ランナーの応募結果について

- ・公募人数165名に対し、応募総数16,932名

②協議事項

パラリンピック聖火リレーの検討について

- ・ルート選定の考え方、検討の進め方など

2 パラリンピック聖火リレーについて

(1) パラリンピック聖火リレーの目的

オリンピックからの移行期間中に勢いや興奮を維持し、人々にパラリンピックの精神及び価値を伝える

(2) 実施期間

2020年8月13日（木）から8月25日（火）までの13日間

●8月13日（木）～17日（月） 5日間

競技開催都県以外の43道府県で採火、聖火ビジット（※）終了後、東京都へ出立

●8月18日（火）～8月20日（木） 3日間

競技開催3県（静岡県、千葉県、埼玉県）で採火、聖火リレーや聖火ビジット終了後、東京都へ出立

●8月21日（金）

- ・午後：東京都内で採火し、聖火リレーや聖火ビジット
- ・夜：全国集火式 ※47都道府県で採火した火を東京に集め、1つに統合

●8月22日（土）～8月25日（火） 4日間

- ・午後：東京都内で聖火リレーや聖火ビジット
（22日から24日の3日間は、夜にセレブレーションを実施）

※聖火ビジット：パラリンピックに親和性のある施設等をランタンに入れた聖火が訪問

(3) 聖火ランナー

「はじめて出会う3人」(3人1組)がチームとなり走行

(4) 実施概要

- ・ 走行時間は、原則15時から20時
- ・ 聖火ランナーは、1チームあたり200mを走行
- ・ 1日あたりの聖火ランナー数は、概ね40チーム
- ・ 1日の走行区間は5区間程度とし、1区間あたり概ね8チームが走行

(5) ルート選定の基本的な考え方(組織委員会から示されているもの)

- ・ 安全かつ確実に聖火リレーが実施できる場所
- ・ すべての人が参加しやすい環境

その上で

- ・ ボーダレスに人と人との新たな出会いを生みだせる場所
- ・ 共生社会(誰もが活躍する社会)の実現に資する場所
- ・ パラリンピック聖火リレーならではの場所

(6) 聖火リレーの検討の進め方

①前提

- ・ 聖火リレーの目的や、組織委員会から示される要件等を基に検討
- ・ オリンピック聖火リレーに比べて、走行日数が少なく、時間も短い
(日数:オリは15日間、パラは5日間、時間:オリは午前から開始、パラは午後から開始)

②進め方・今後の予定

- ・ 東京都聖火リレー実行委員会が、リレー通過自治体の素案を作成
- ・ 該当区市町村と調整し、実行委員会で審議・決定後、都案を組織委員会に提出
- ・ リレー通過自治体について、組織委員会がIPCと協議し、年内公表予定

③その他

- ・ ランナー選考基準・選考方法等について、組織委員会が年内公表予定